

平成25年2月18日
義務教育課・学校教育政策課

SASA2012・12学力テストの結果について

1 実施の概要

(1) 調査の目的

学習状況の課題を的確に把握し、指導法を改善する。

(2) 調査の期間

平成24年12月14日（金）～12月21日（金）

(3) 対象学年、教科

小学校5年生（約7,700人） 国語、社会、算数、理科

中学校2年生（約8,000人） 国語、社会、数学、理科、英語

2 調査結果の概要

(1) 集計結果（正答率）

	国語	社会	算数・数学	理科	英語
小学校	66.4	69.3	63.7	60.3	
（前回）	60.4	77.1	66.1	69.7	
中学校	69.8	64.8	56.6	63.6	64.6
（前回）	62.1	66.3	65.3	52.8	66.9

※小学校社会、理科では、記述して回答する問題を増やしたため難易度が高くなり、前年度と比べ正答率が下がった。また、中学校数学は、知識・技能を問うA問題において昨年度に比べて難易度の高い問題を出したため正答率が下がった。

(2) 各教科の課題

①小学校

国語

放送で流されたスピーチから内容を適切に聞き取ることは改善されたが、登場人物の気持ちの変化を読みとることには課題がある。

社会

複数の資料を関連づけて考察することは改善されたが、地図の用語をヒントにして国の位置を特定することに課題がある。

算数

3. $8 + 2$ のような「小数」+「整数」の計算は改善されたが、身の回りのものの重さのおよその見当を付けることに課題がある。

理科

植物の成長について観察を基に説明することは改善されたが、日常生活の現象と水の状態変化を関連付けて説明することに課題がある。

②中学校

国語

敬語についての知識は改善されたが、放送で流されたスピーチから内容を聞き取りことに課題がある。

社会

地図の縮尺から実際の距離を求めるることは改善されたが、祇園祭を復活させた「町衆」の理解に課題がある。

数学

一次関数のグラフの特徴を捉えて、その式を指摘することは改善されたが、球の体積を求めるに課題がある。

理科

観察・実験の結果から分かることを説明することは改善されたが、燃焼に必要な酸素分子の数を答えるに課題がある。

英語

That 節を用いた複文についての知識は改善されたが、対話文を読んで、筆者や登場人物の行動を正しく読み取ることに課題がある。

3 今後の活用について

すでに小学5年生、中学2年生対象に、課題克服教材集（リトライプリント）を教育情報フォーラム上に掲載して、各学校で取組を進めており、他の学年の学習にも役立てている。